



学校が再開して1ヶ月がたちました

徐々に学校生活を通常へ

6月1日(月)より2ヶ月におよぶ臨時休校措置が解かれ、学校に子ども達の声に戻ってきました。1日(月)からの1週間は午前中授業でしたが、2週目からは、日課表通りの全面再開となりました。1年生の子ども達にとっては、4月は3日のみの登校でしたから、まさしく、1からの出発となりました。学校では、マスクの着用をはじめ、手指の手洗い、消毒を常に行うとともに、文部省の通達をもとに、音楽や家庭、体育の授業では、接触する機会の多いものや飛沫が飛んだりする学習内容に配慮しながら、各教科の指導に努めています。



9日(火)から業間体育の「10分間運動」も開始しました。接触を避けるため、主としボーテック投げや的当てなどの「投」の運動を中心に行っています。3学年ごとに、体育館での的当て、運動場でのボーテック投げを行い、投げる力の向上に取り組んでいます。また、6月下旬には縄跳び運動も始め、「跳」の運動へと展開しています。



18日(木)には、縦割り活動の「色別発会式」「たてわり給食」を行いました。6年生の赤、青の色長が各色のスローガンを力強く発表しました。その後班ごとに自己紹介をして、メンバーを確認しました。給食時には、給食室手作りのお弁当を色の仲間と輪になっておいしくいただきました。このように、徐々に通常に戻しつつ、新しい学校生活を送っています。



地域・保護者の方の支援・協力に感謝

公民館の館報を通じて、運動場の草むしりの協力をお願いしましたところ、早速地域や保護者の方が暑い中、学校へ足を運んでくださり、草むしりをしてくださっています。お陰を持ちまして、運動場も5月の状態からは、見違えるほど美しくなりました。これも地域や保護者の皆様の温かいご支援の賜物と喜んでます。子ども達も体育や休み時間、10分間運動で快適に運動場を使っています。ありがとうございます。



円滑なコミュニケーションをとるには!

ある雑誌の記事を読んでいて、参考になった内容をお伝えしたいと思います。以下引用文

円滑なコミュニケーションをとるためには「わたし」を主語とする。(アイ)メッセージを心がけましょう。自分はどう感じているのか、どうして欲しいのかを正直に相手に伝えます。たとえば、「また遅刻して!(あなたは)何回言ったらわかるのよ」ではなく、「(わたしは)すごく心配したわ。遅れるときは連絡してね」というように。

また、子どもの叱り方も難しい昨今、表の「かりてきたねこ」を参考にしてください。

叱るコツは「かりてきたねこ」

- 「か」 感情的にならない
- 「り」 理由を話す
- 「て」 手短かに
- 「き」 キャラクター(性格人格)に触れない
- 「た」 他人と比較しない
- 「ね」 根に持たない
- 「こ」 個別に叱る

気に留めたい言葉です。〈文責 校長 正野新造〉